市政に対する一般質問

——9人の議員が質問——

9月定例会の一般質問は、9月8日・9日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

大内 卓也
仙台南部工業団地分譲方式見直しに伴う誘致戦略について

佐久間 順子
地方創生を支える地域雇用マッチングについて

佐久間 儀郎
身寄りのない単身高齢者への支援について

角張 大治
第六次白石市総合計画に係る成果指標について

佐藤 龍彦
本市の公共交通の状況について

大森 貴之
人的受援計画の実効性と必要人員の事前掌握について

四竈 英夫
地球温暖化への対応について

村上 由紀
白石市立小中学校のあり方に関する基本方針(案)について

髙子 秀明
入札契約事務について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

仙台南部工業団地分譲方式見直しに伴う誘致戦略について

大内 卓也



〔質問〕なぜレディーメード方式による造成が可能と判断できたのか見解と根拠を伺う。

〔答弁〕【大庭副市長】県と協議を重ね、県が農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく「農村地域産業導入基本計画」の改正を行い、市が「農村地域への産業導入に関する実施計画」を策定することで、レディーメード方式による造成が可能となった。

〔質問〕今後の分譲開始に至るまでの具体的なスケジュールについて伺う。

〔答弁〕【SIC企業立地推進室長】順調に進んだ場合、令和10年度中を目標に造成工事着手、令和12年中を目標に分譲を開始したい。

〔質問〕今回、造成する区画の総事業費の見込みと、現在想定される分譲価格の設定について伺う。

〔答弁〕【都市創造課長】総事業費は、約6・2ヘクタールの造成費と防災調整池等の築造費となり、現時点では総額約30億円を見込んでいる。防災調整池等は将来の拡張エリアを見据えた共通インフラの整備分が含まれているため、分譲価格は総事業費を今回の造成面積で単純に割った金額とはならない。今後の実施設計など不確定要素はあるが、現時点の試算では、1平方メートル当たりおおむね3万円程度と見込んでいる。

〔質問〕今回の見直しが、今後の市の財政状況や財政見通しにどのような影響を与えるのか伺う。

〔答弁〕【市長】土地開発公社が借り入れによる資金調達を行い、分譲までの期間にかかる元利償還金を一般会計から繰り出す。直ちに市の財政運営に大きな支障を及ぼすものではないと考えている。

〔質問〕今後どのような企業誘致活動を展開していくのか伺う。

〔答弁〕【市長】引き続き私と大庭副市長による企業訪問を継続。企業からは「市長と副市長が一緒に訪問している自治体は他にない」との声もある。私の不在時には村上副市長をはじめとした体制を構築することができている。引き続き、企業誘致の早期実現に向け、強力にトップセールスを進めていく。